



介護からエンゼルケアまで
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～
株式会社 ケアサービス

2019年3月期 決算説明会資料

2019年5月30日

株式会社ケアサービス
(東証JASDAQ 2425)

- P. 3 2019年3月期 連結決算概要
- P.12 2019年3月期 トピックス(国内既存事業)
- P.16 2019年3月期 トピックス(国内新規・海外事業)
- P.19 2018年度介護報酬改定の影響
- P.21 2020年3月期 通期連結業績予想概要
- P.25 中期成長戦略 – 今後の取り組みについて –
- P.37 3か年計画数値目標
- P.40 参考資料



介護からエンゼルケアまで
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～
株式会社 ケアサービス

2019年3月期 連結決算概要

2019年3月期 実績（2018年5月15日付 対予想比）

- 売上高： 対予想比 0.0%未達
- 営業利益： 同 11.9%未達
- 経常利益： 同 11.6%未達
- 親会社株主に帰属する当期純利益： 同 39.1%未達

※ 2019年3月15日に「業績予想の修正に関するお知らせ」をリリースしており、その予想数値と実績との大きな差異はございません。

(百万円)	2019年3月期 (連結)		2019年3月期 (連結)		対予想比 (5/15付)	
	予想	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	8,910	100.0%	8,906	100.0%	△ 3	-0.0%
介護事業	6,381	71.6%	6,321	71.0%	△ 60	-1.0%
エンゼルケア事業	1,980	22.2%	1,994	22.4%	13	0.7%
フォーライフ事業	547	6.1%	591	6.6%	43	8.0%
営業利益	256	2.9%	225	2.5%	△ 30	-11.9%
経常利益	261	2.9%	230	2.6%	△ 30	-11.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	155	1.7%	94	1.1%	△ 60	-39.1%

2019年3月期 決算サマリ (対前期比)

- 売上高： 対前期比 3.4%増収
- 営業利益： 同 4.1%減益
- 経常利益： 同 0.6%減益
- 親会社株主に帰属する当期純利益： 同 20.2%減益

(百万円)	2018年3月期 (連結)		2019年3月期 (連結)		対前期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	8,611	100.0%	8,906	100.0%	294	3.4%
売上総利益	1,154	13.4%	1,175	13.2%	21	1.8%
販売費及び一般管理費	919	10.7%	950	10.7%	30	3.3%
営業利益	235	2.7%	225	2.5%	△ 9	-4.1%
経常利益	232	2.7%	230	2.6%	△ 1	-0.6%
特別利益	0	0.0%	0	0.0%	0	-
特別損失	12	0.1%	59	0.7%	47	379.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	118	1.4%	94	1.1%	△ 23	-20.2%

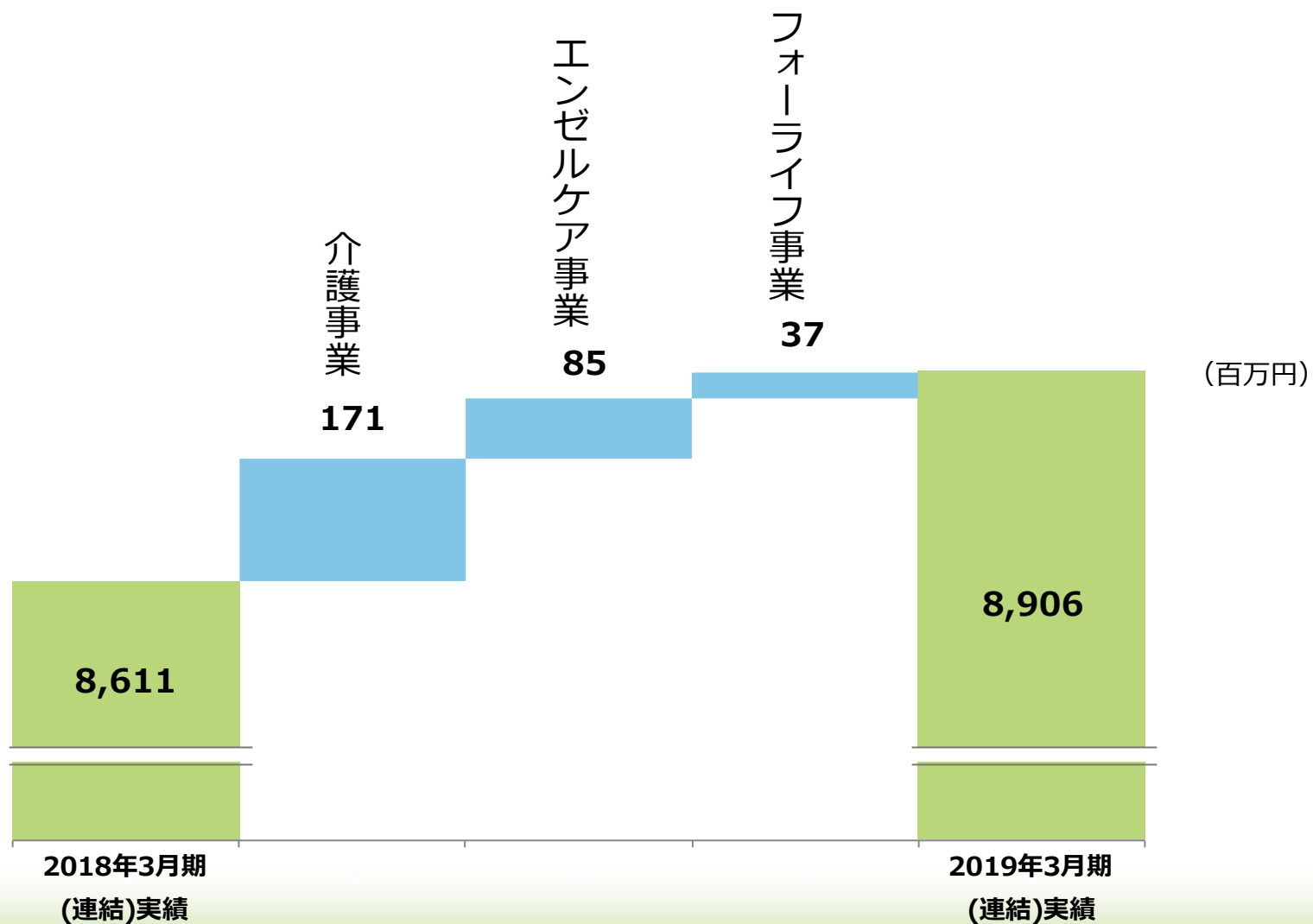
2019年3月期 事業別業績概要

- 介護事業： 対前期比 2.8%増収 0.9%減益
- エンゼルケア事業： 同 4.5%増収 4.1%増益
- フォーライフ事業： 同 6.7%増収 13百万円減益

(百万円)	2018年3月期 (連結)		2019年3月期 (連結)		対前期比	
	実績	対売上高 比率	実績	対売上高 比率	増減額	増減率
売上高	8,611	100.0%	8,906	100.0%	294	3.4%
介護事業	6,149	71.4%	6,321	71.0%	171	2.8%
エンゼルケア事業	1,908	22.2%	1,994	22.4%	85	4.5%
フォーライフ事業	554	6.4%	591	6.6%	37	6.7%
セグメント利益	1,113	12.9%	1,111	12.5%	△ 2	-0.2%
介護事業	692	11.3%	686	10.9%	△ 6	-0.9%
エンゼルケア事業	421	22.1%	438	22.0%	17	4.1%
フォーライフ事業	△ 0	-0.1%	△ 13	-2.4%	△ 13	-
調整額	△ 877	-10.2%	△ 885	-9.9%	△ 7	-0.9%
営業利益	235	2.7%	225	2.5%	△ 9	-4.1%

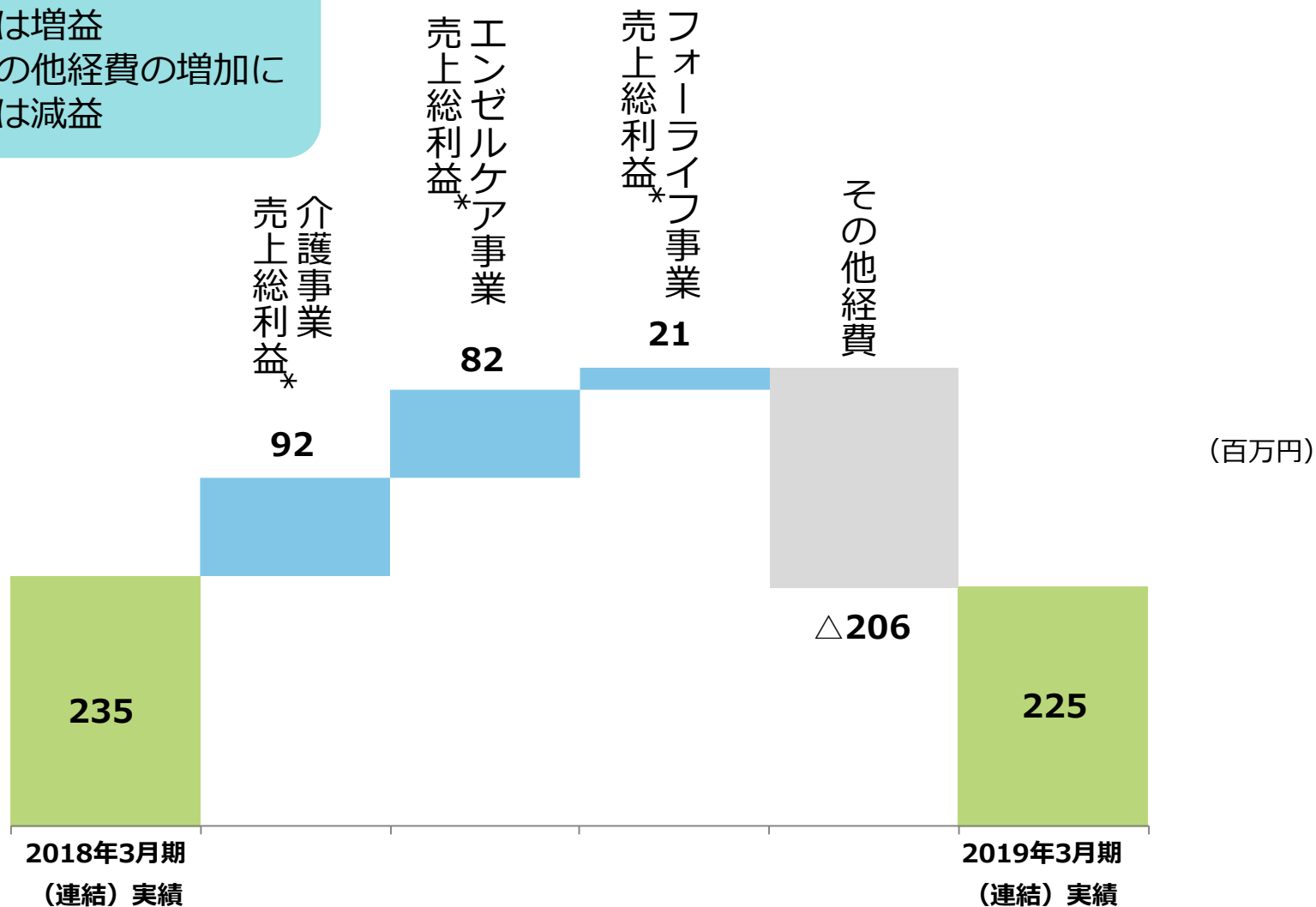
2019年3月期 売上高の増減分析

介護事業、エンゼルケア事業ともに増収
フォーライフ事業も前期減収から増収へ



2019年3月期 営業利益の増減分析

介護事業、エンゼルケア事業、
 フォーライフ事業はともに増収に
 より売上総利益は増益
 人件費を含むその他経費の増加に
 より、営業利益は減益



*注意： 人件費を除いた売上総利益額です

2019年3月期末 貸借対照表サマリ

(百万円)	2018年3月期末 (連結)		2019年3月期末 (連結)		対前期末比 増減額
	実績	構成比	実績	構成比	
流動資産	2,153	72.4%	2,206	71.0%	52
現金・預金	736	24.8%	768	24.7%	32
売掛金	1,295	43.6%	1,337	43.0%	42
固定資産	819	27.6%	901	29.0%	81
有形固定資産	294	9.9%	248	8.0%	△ 45
無形固定資産	96	3.2%	185	6.0%	88
投資その他の資産	428	14.4%	467	15.0%	39
資産合計	2,973	100.0%	3,108	100.0%	134
流動負債	1,191	40.1%	1,148	37.0%	△ 42
買掛金	125	4.2%	146	4.7%	20
1年以内返済予定の 長期借入金	234	7.9%	182	5.9%	△ 51
未払金	181	6.1%	115	3.7%	△ 65
固定負債	383	12.9%	479	15.4%	95
長期借入金	252	8.5%	232	7.5%	△ 19
負債合計	1,574	53.0%	1,628	52.4%	53
株主資本	1,418	47.7%	1,487	47.9%	69
資本金	205	6.9%	205	6.6%	0
資本剰余金	138	4.6%	138	4.4%	0
利益剰余金	1,223	41.1%	1,292	41.6%	69
自己株式	△ 148	-5.0%	△ 148	-4.8%	0
その他の包括利益累計額	△ 7	-0.2%	△ 7	-0.2%	0
純資産合計	1,398	47.0%	1,480	47.6%	81
負債・純資産合計	2,973	100.0%	3,108	100.0%	134

【ご参考】自己資本比率の推移

- 2018年3月期末 47.5%
- 2019年3月期末 47.6%

2019年3月期 キャッシュ・フロー計算書サマリ

(百万円)	2018年3月期 (連結) 実績	2019年3月期 (連結) 実績	対前期比 増減額
税引前当期純利益	219	171	△ 48
減価償却費	116	124	8
売上債権の増減額 (△は増加)	△ 26	△ 42	△ 15
仕入債務の増減額 (△は減少)	0	20	20
債権放棄損	0	27	27
関係会社整理損	0	10	10
未払費用の増減額 (△は減少)	9	23	13
法人税等の支払額	△ 113	△ 116	△ 2
その他	99	82	△ 16
営業活動によるキャッシュ・フロー合計	305	301	△ 3
有形固定資産の取得による支出	△ 31	△ 56	△ 24
無形固定資産の取得による支出	△ 19	△ 62	△ 42
その他	△ 12	△ 12	0
投資活動によるキャッシュ・フロー合計	△ 63	△ 130	△ 67
長期借入れによる収入	200	200	0
長期借入金の返済による支出	△ 275	△ 271	3
配当金の支払額	△ 25	△ 25	0
その他	△ 45	△ 41	4
財務活動によるキャッシュ・フロー合計	△ 146	△ 139	7
現金及び現金同等物の増減額	90	32	△ 57
現金及び現金同等物の期末残高	736	768	32

事業別事業所数・人員数の推移（国内）

■ 事業別事業所数の推移

(事業所数)	2018年3月期				2019年3月期				対前期末比 増減数
	新規	統合・ 移転	閉店	期末 事業所数	新規	統合・ 移転	閉店	期末 事業所数	
介護事業	3	2	2	76	3	1	3	76	0
デイサービス（通所介護サービス）	1	2	0	48	1	0	3	46	△ 2
訪問入浴サービス	1	0	0	13	1	1	0	14	1
その他サービス	1	0	2	15	1	0	0	16	1
エンゼルケア事業	2	0	0	23	1	0	0	24	1
フォーライフ事業	0	0	0	4	0	0	0	4	0

■ 事業別従業員数の推移

(人員数)	2018年3月期	2019年3月期	対前期末比 増減数
介護事業	942	985	43
エンゼルケア事業	225	235	10
フォーライフ事業	70	71	1
合計	1,237	1,291	54

※数値にはパート従業員を含む

< 2019年3月期 新規出店・統廃合事業所 >

新規出店

- デイサービスセンター島根【2018年5月】
- 訪問入浴 川口【2018年6月】
- レンタル杉並【2018年10月】
- エンゼルケア小田原事業所【2018年10月】

移転

- 訪問入浴下井草を上井草に移転【2018年5月】

閉店・休止・廃止

- デイサービスセンター目黒本町【2018年4月閉店】
- デイサービスセンター文京千石【2018年5月閉店】
- デイサービスセンター水元【2019年3月閉店】



介護からエンゼルケアまで
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～
株式会社 ケアサービス

2019年3月期 トピックス (国内既存事業)

ドミナント戦略の推進（事業所の新規出店）

■ 2018年5月「デイサービスセンター島根」開設

東京都足立区では4拠点目。当社の居宅介護支援事業所が隣接。
機械浴や機能訓練の最新設備を設置。



■ 2018年6月「訪問入浴 川口」事業所開設

株式会社やさしい手の訪問入浴事業を譲受したことに伴い、埼玉県に進出。
(関連：P.15)

ドミナント戦略の推進（事業所の新規出店）

- **2018年10月「エンゼルケア小田原事業所」開設**
業務拡大により、神奈川県小田原市にエンゼルケア事業所を開設。



▲エンゼルケアサービスイメージ

- **2018年10月「レンタル杉並」事業所開設**
東京都杉並区に、福祉用具貸与・販売事業所を開設。
東京都23区城西地域の業務拡大および業務効率化を目指す。



▲レンタルサービスイメージ

2018年6月 株式会社やさしい手より訪問入浴事業の譲受

- 東京（杉並、練馬、世田谷）と埼玉（川口）エリアの事業と従業員の譲受
- 訪問入浴部門売上 対前期108百万円増収
- 引き継いだお客様の新規居宅介護支援事業所88事業所の相乗効果で依頼数増加

訪問入浴は、一定以上の規模を
保持することにより、残存者利益が期待できる。



介護からエンゼルケアまで
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～
株式会社 ケアサービス

2019年3月期 トピックス (国内新規・海外事業)

介護人材の人材紹介事業本格化

- **人材紹介事業の本格スタート**
2018年4月より、人材子会社『ケアサービスヒューマンキャピタル』にて介護業界に特化した人材紹介サービスを開始。
- **母集団形成、求人データ収集の為に先行投資を進め、事業基盤を強化**

かいこの架け橋のオーダーメイドの介護転職サイト

かいこの架け橋 求人検索 Job Search 求人情報 recruit 会社概要 company 会員登録 resister お問い合わせ contact

オーダーメイド型転職

通勤30分圏内の『**あなただけの求人**』をご紹介します！

- ご自宅から30分圏内の求人を紹介！
- 介護業界での人事経験者があなたをフルサポート！
- 入社後も100%フォローアップ制度！

相談をしながら求人を探したい方・自分で探すよりもず
求人の紹介を希望する方・非公開求人をお探しの方は **こちらから!**

無料 お仕事を紹介してもらおう >

フリーワードで探す

【株式会社ケアサービスヒューマンキャピタル】
人材紹介登録サイト『かいこの架け橋』
(<https://kaigo-kakehashi.com/>)

中国事業 2019年3月期 サマリー

■ 上海エリア

（介護）

- ・ 訪問入浴 — 上海市行政から業績を評価され、1,000件のサービス提供実施。高齢者の自宅や施設等でサービス展開を実施。
- ・ サービス開発 — 上海市行政、現地事業者へのヒアリングを通じた市場調査実施。

（エンゼルケア：湯灌）

- ・ 上海市の国営葬儀場 3 拠点内での湯灌サービスの提供を継続。
- ・ 訪問エンゼルケア（自宅など葬儀場外での湯灌）の開始。

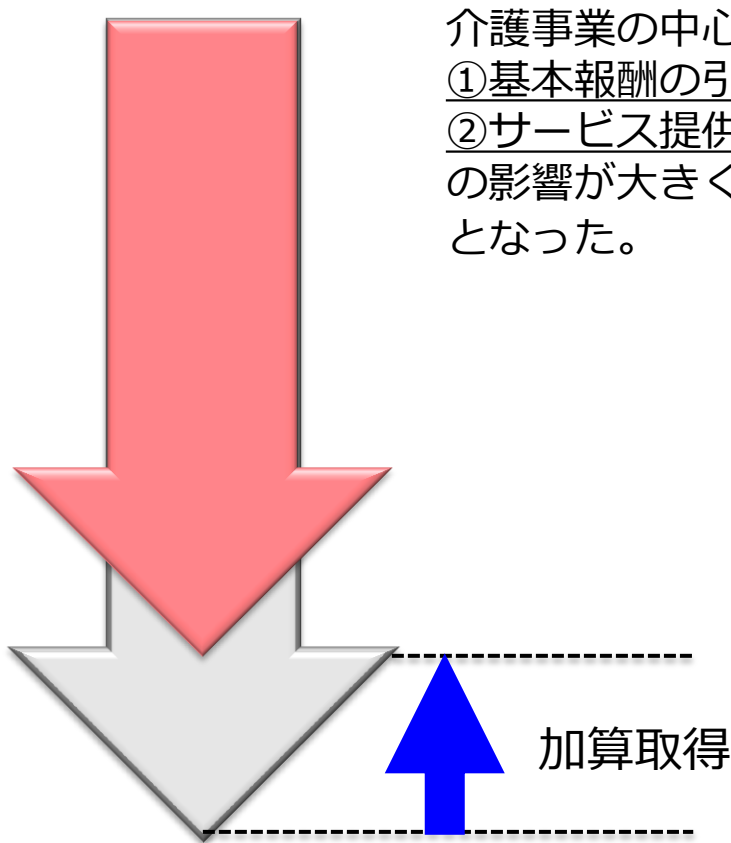
■ 北京エリア

- ・ 北京福原の法人解散および清算を決定。（2018年10月19日付開示）
今後は上海福原が中国全体の事業を担当。



2018年度介護報酬改定の影響

2019年3月期実績
- 1%



介護事業の中心であるデイサービスにて
①基本報酬の引下げ
②サービス提供時間区分の見直し
の影響が大きく、当社にはマイナス改定
となった。

(例) 要介護3 通常規模デイ利用の場合

	利用時間	単位数	
改定前	7～9時間	898単位	
			▽ - 1.7%
改定後	7～8時間	883単位	(参照：P.50)

介護報酬改定の影響はあるものの、加算の取得により、
期初想定の-1%程度にとどめる



介護からエンゼルケアまで
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～
株式会社 ケアサービス

2020年3月期 通期連結業績予想概要

2020年3月期 業績予想サマリ

- 介護事業
 - ・ デイサービス1事業所開設、既存46事業所の稼働率向上を推進。
 - ・ デイサービス14事業所で展開している日曜営業の一層の稼働率向上を推進
 - ・ 中国子会社における介護事業本格化
- エンゼルケア事業
 - ・ エンゼルケア1事業所開設、既存24事業所の稼働率向上を推進
 - ・ 中国国営の3殯儀館（葬儀場）における稼働率向上を推進
- フォーライフ事業・・・既存施設4施設の入居率向上を推進

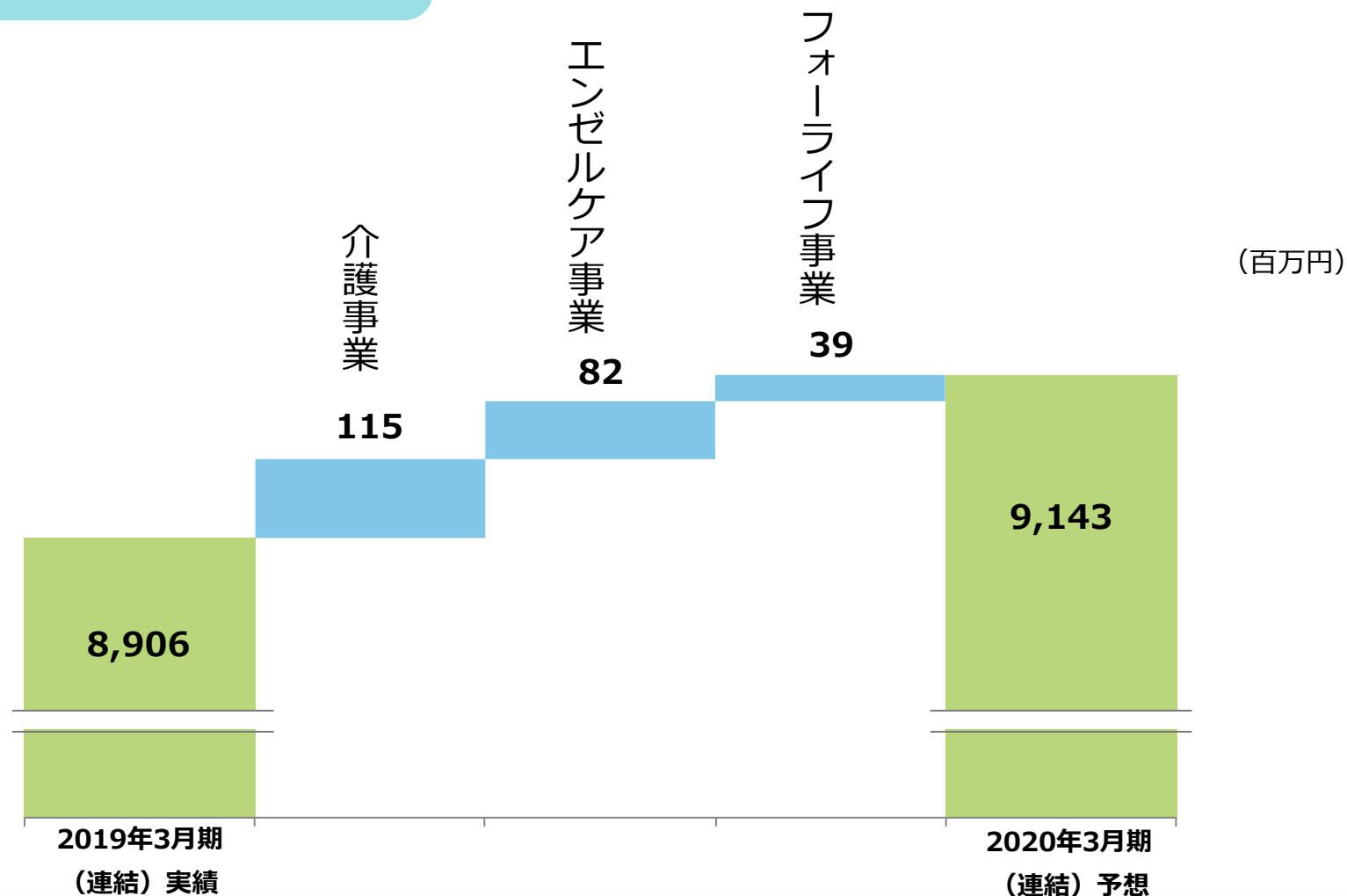
	(単位)	2019年3月期 通期実績 (連結)	2020年3月期 通期予想 (連結)	対前期比	
				増減額	増減率
売上高	(百万円)	8,906	9,143	237	2.7%
介護事業	(百万円)	6,321	6,436	115	1.8%
エンゼルケア事業	(百万円)	1,994	2,076	82	4.2%
フォーライフ事業	(百万円)	591	630	39	6.7%
営業利益	(百万円)	225	270	44	19.7%
経常利益	(百万円)	230	274	43	18.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	(百万円)	94	157	62	66.1%
主要拠点数 ※1					
介護事業	(拠点)	76	77	1	1.3%
エンゼルケア事業	(拠点)	24	25	1	4.2%
フォーライフ事業 ※2	(拠点)	4	4	0	0.0%

※1 主要拠点数は国内のみ記載しております

※2 特定施設入居者生活介護の認可を受けております

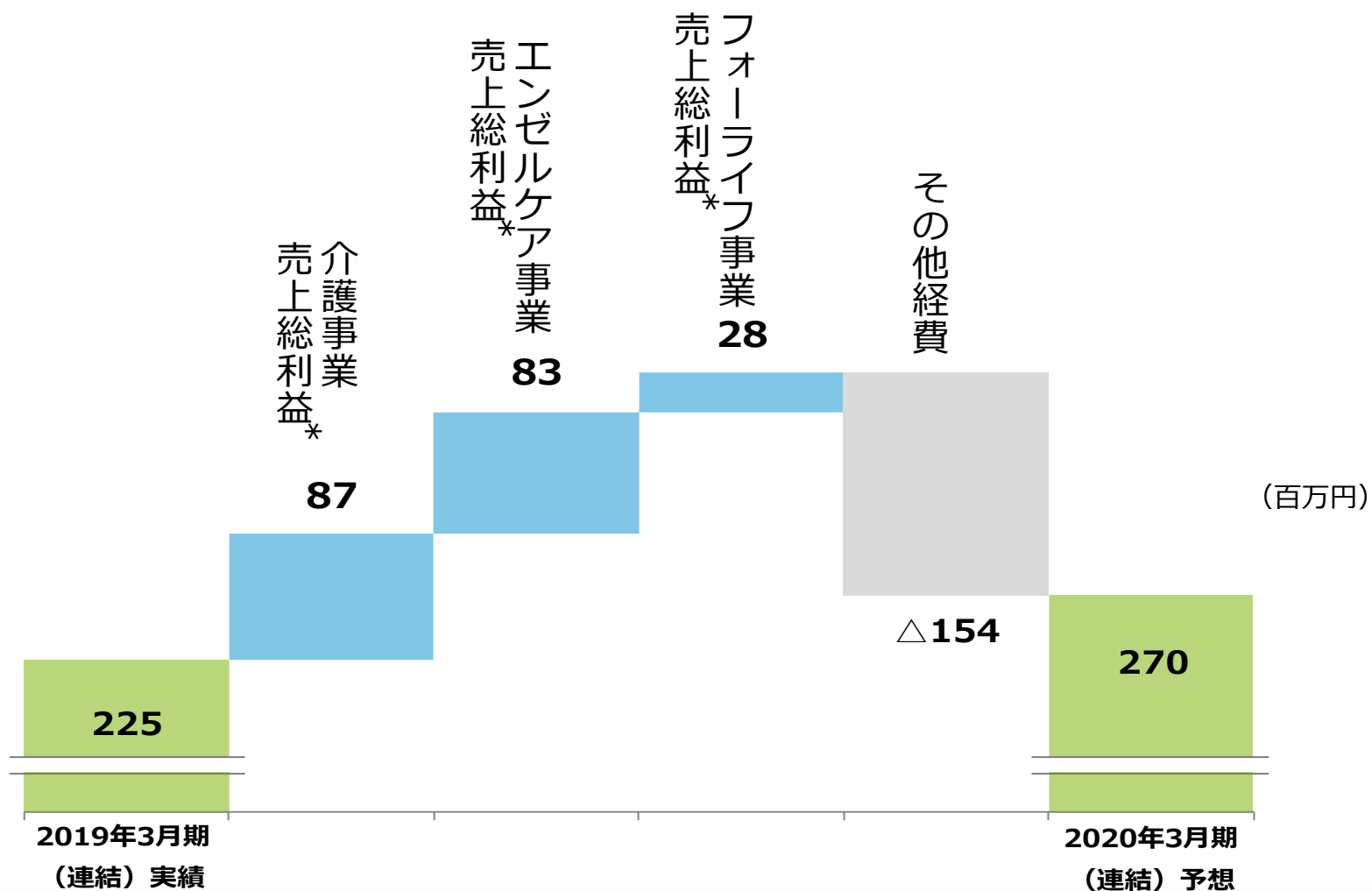
2020年3月期 売上高予想の増減分析

介護事業、エンゼルケア事業における
既存事業所の稼働向上、事業深耕により
237百万円の増収を予定



2020年3月期 営業利益予想の増減分析

介護事業、エンゼルケア事業、フォーライフ事業、3事業ともに増収により44百万円の増益を予定



*注意： 人件費を除いた売上総利益額です



介護からエンゼルケアまで
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～
株式会社 ケアサービス

中期成長戦略

－今後の取り組みについて－

**1. 国内介護事業
ドミナント戦略の推進**

2. 国内既存事業の強化

3. 新たな取り組み

4. 中国での事業展開

**1. 国内介護事業
ドミナント戦略の推進**

2. 国内既存事業の強化

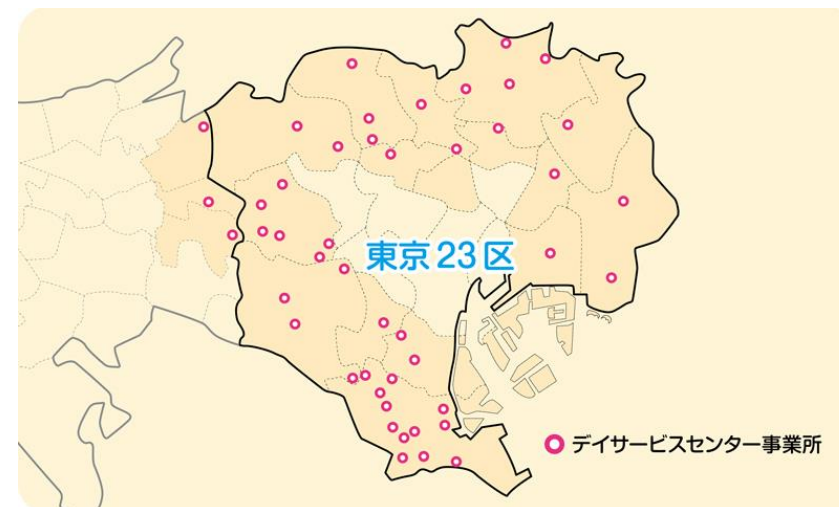
3. 新たな取り組み

4. 中国での事業展開

中核事業の着実な拡大と成長領域のさらなる拡大

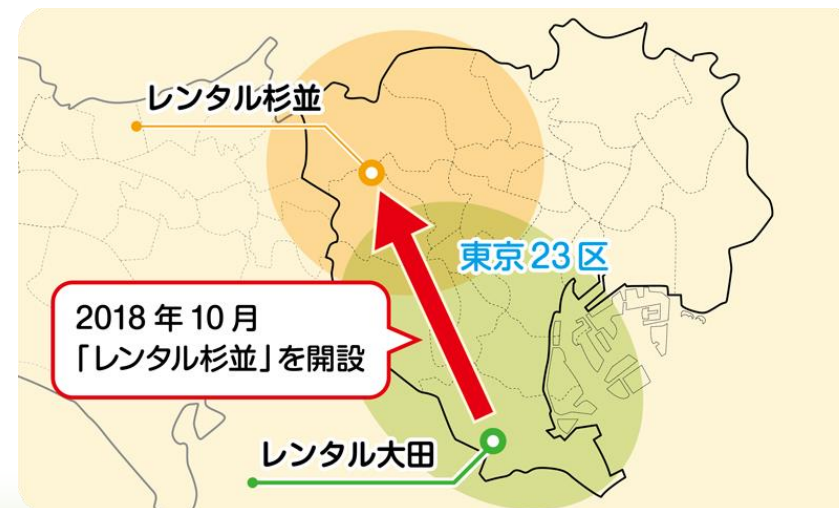
■ デイサービス事業の稼働率アップと、高稼働事業所の地続きでの出店によるドミナントの展開

⇒出店の強化と低稼働率事業所のゼロ化に向け、営業力強化のための人員調整を図る。



■ 成長領域のさらなる拡大

⇒好調なレンタルサービスの営業強化による売上の底上げと、新規エリアの開拓、出店を行い、東京23区全域をさらに効率的にカバーできる体制を目指す。



1. 国内介護事業
ドミナント戦略の推進

2. 国内既存事業の強化

3. 新たな取り組み

4. 中国での事業展開

中核事業の着実な拡大と次の成長領域の創出

■ エンゼルケア事業の拠点分割と首都圏エリアの深耕

⇒2019年4月「エンゼルケア浦和事業所」を開設。

引き続き首都圏の有望エリアでの事業拡大に向けた営業力強化。

⇒新規出店を見据えた人材育成の強化。



■ 事業の選択と集中

- ・ 訪問系の在宅介護サービス（訪問入浴、訪問介護、訪問看護）の拡大を図る。

デイサービス事業の収益拡大に向けた取り組み

- 「ADL維持等加算」取得に向け、すべてのデイサービスセンターで、お客様一人一人のBI(バーセルインデックス※)の測定を開始。

⇒ADL（日常生活動作）の維持・改善につながったお客様が多い事業所を評価する加算。

※バーセルインデックス

…国際的にADLを評価する指標として用いられ、一人一人の自立度を測定することができる。

⇒2019年4月から、4事業所で加算を取得。今後、加算を取得できる事業所の拡大を目指す。

バーセルインデックス評価項目
1) 食事
2) 車いすとベッド間の移乗
3) 整容
4) トイレ動作
5) 入浴
6) 歩行
7) 階段昇降
8) 更衣
9) 排便コントロール
10) 排尿コントロール

1～10の項目について、「できるADL」を2～4段階で評価する。

1. 国内介護事業
ドミナント戦略の推進

2. 国内既存事業の強化

3. 新たな取り組み

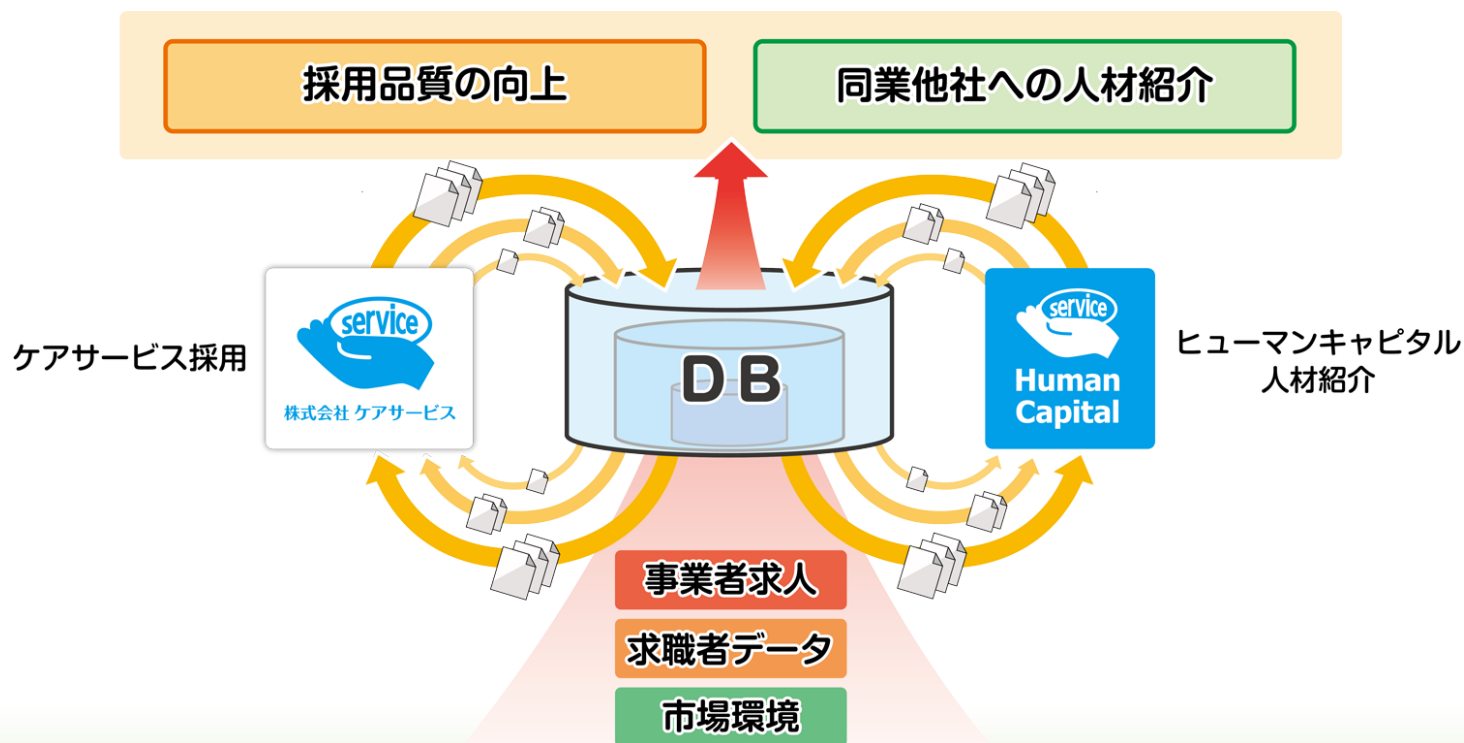
4. 中国での事業展開

既存介護事業を基盤とした周辺領域での事業展開への取り組み

■ 人材紹介事業

⇒蓄積した採用データを人材紹介事業へ活用し、求職者と同業他社を高い精度でマッチングさせる。

⇒2期目である2020年3月期は、2カ月連続黒字化でスタート。

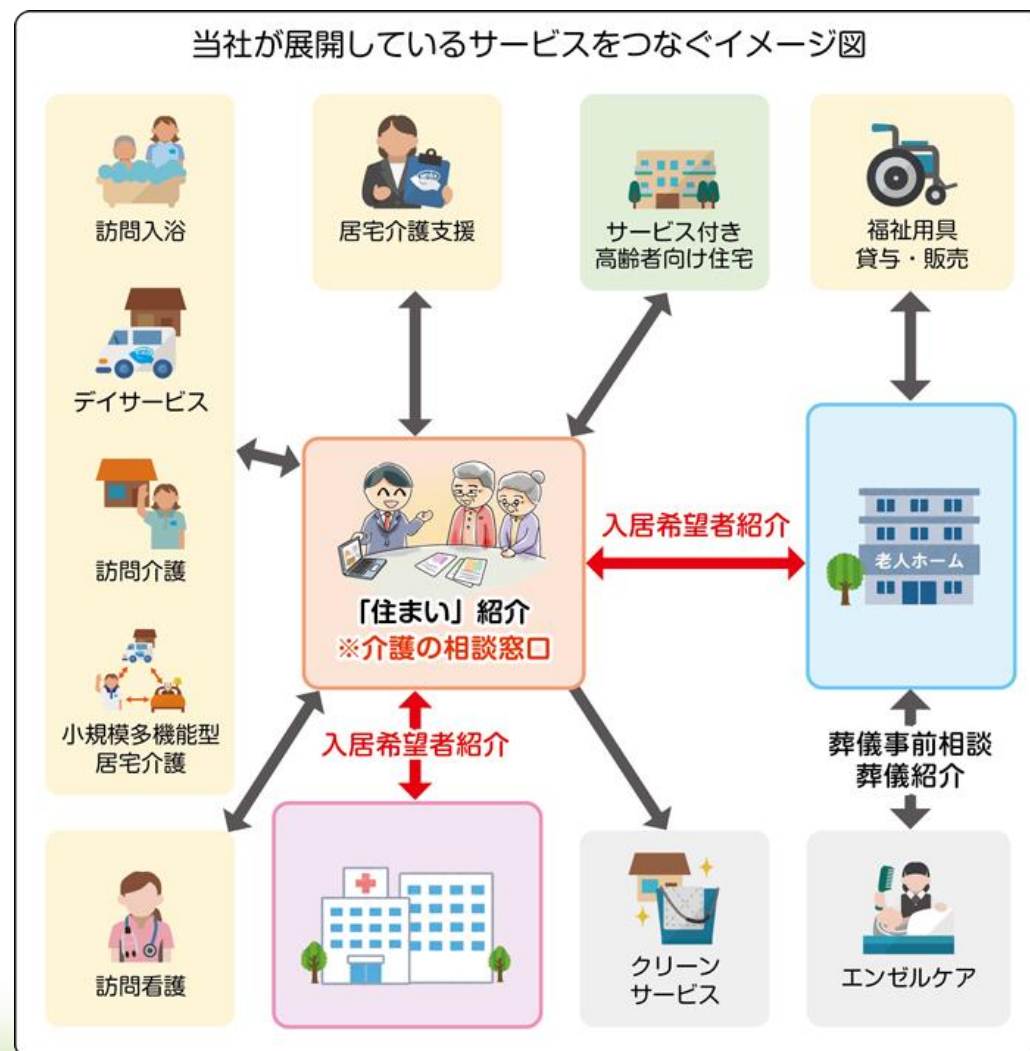


既存介護事業を基盤とした周辺領域での事業展開への取り組み

■ 介護全体のコーディネーターとして「介護からエンゼルケアまで」の橋渡しを強化

⇒介護関連事業のコーディネーターとして、お客様やケアマネジャーからの要望に沿って、社内外の介護サービスを紹介する。

⇒ケアマネジャー、医療ソーシャルワーカーとの接点を一層強化し、在宅ケアプランから施設入居者対応、施設紹介を強力に推進する。



1. 国内介護事業
ドミナント戦略の推進

2. 国内既存事業の強化

3. 新たな取り組み

4. 中国での事業展開

中国事業 今後の展開

■ 介護

- ・ 認知症対応のコンサルティング
⇒上海市行政の取り組みにより、
認知症介護の需要が高まり、
都市圏の小規模多機能や養老院に向け、
認知症対応の運営コンサルティング、
人材育成研修を実施。
- ・ 訪問入浴の体制強化と人材育成の実施。
⇒利用件数の増加により、2チーム体制
での稼働に向けた人材育成を実施。

■ エンゼルケア：湯灌

- ・ 上海市内の既存3施設に加え、新規葬儀場の開拓。
- ・ 訪問エンゼルケアの本格的な稼働に向け、人員と設備を強化。



“我们要尊重每一位老人原有的生活习惯，不安排固定日程。”小野寺俊介还表示，每位老人都是独立的个体，应该享有自己习惯的生活方式，不因换了居所，而要作统一规定作息时间，或换成统一的着装。介护员要详细了解每
上观新闻 生活习惯，从而为老人提供贴心的生活帮助，老
上观 站上海·观天下 打开APP 由
选择睡到几点起床、什么时间吃饭、进行什么活动、没有过多的约束。

▲「上観新聞」の掲載面 … 認知症介護の研修は、
現地のテレビや新聞、WEBメディアに報道、掲載
されました。



介護からエンゼルケアまで
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～
株式会社 ケアサービス

3か年計画数値目標

2022年3月期に売上高100億円突破想定

(単位：百万円)

	2019年3月期 (実績)	2020年3月期 (予想)	2021年3月期 (目標)	2022年3月期 (目標)
売上高	8,906	9,143	9,837	10,666
営業利益	225	270	378	480
経常利益	230	274	381	484
親会社株主に帰属する 当期純利益	94	157	228	298



ご清聴ありがとうございました。



介護からエンゼルケアまで
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～
株式会社 ケアサービス



介護からエンゼルケアまで
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～
株式会社 ケアサービス

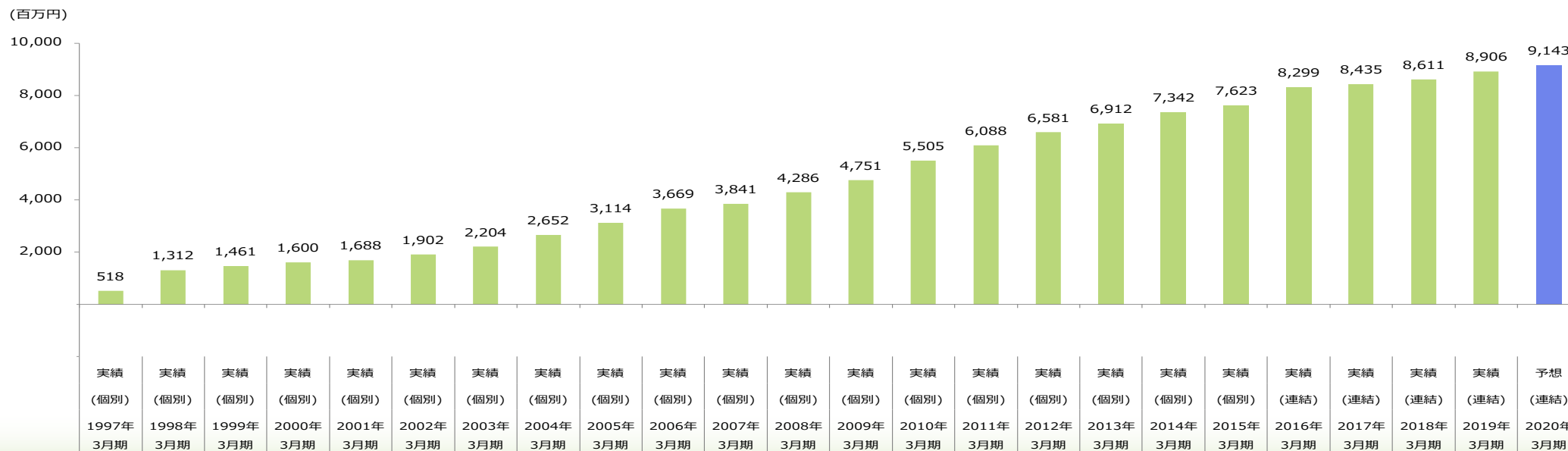
参考資料

ケアサービスの状況



当社の売上高推移と主な沿革

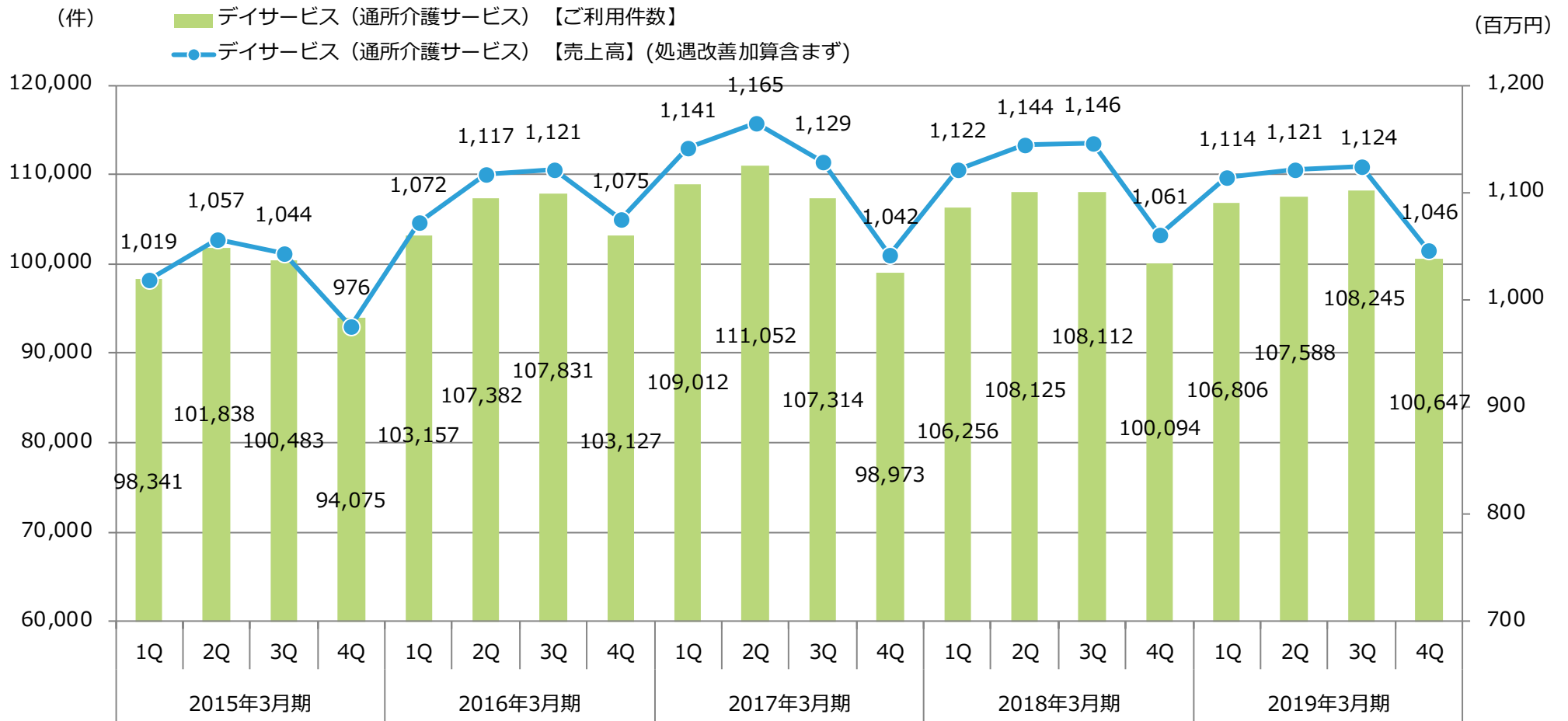
- 1970年 寝たきり老人などの布団の消毒乾燥を行う寝具乾燥事業で創業
- 1983年 高齢者福祉のための介護サービスを目的とした介護部門を創設
- 1990年 葬儀におけるエンゼルケアサービスを始動
- 1991年 訪問介護サービス、訪問入浴サービスのための株式会社ケアサービス設立
- 1992年以降、大田区を皮切りに首都圏を中心に、居宅介護支援事業所、デイサービスセンター、サービス付き高齢者向け住宅（フォーライフ）などを開設
- 2015年 中国上海市に完全子会社の『上海福原護理服務有限公司』を設立
- 2016年 訪問看護を開始し、医療と介護の連携を強化
上海にてエンゼルケア事業開始
- 2017年 人材子会社『株式会社ケアサービスヒューマンキャピタル』を設立
小規模多機能型居宅介護を開始



- デイサービスの基本報酬引き下げ、事業所統廃合による売上高減少、ご利用件数横ばいを訪問入浴サービスの事業譲受によりカバーし、売上高・ご利用件数ともに増加

	2017年3月期 (連結)実績			2018年3月期 (連結)実績			2019年3月期 (連結)実績		
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期
売上高【百万円】									
介護事業	3,136	2,930	6,066	3,106	3,042	6,149	3,178	3,142	6,321
デイサービス (通所介護サービス)	2,396	2,257	4,653	2,398	2,337	4,736	2,363	2,295	4,659
訪問入浴サービス	473	454	927	471	440	912	502	518	1,020
その他	265	219	484	235	264	500	312	328	640
ご利用件数									
介護事業	284,109	263,087	547,196	273,097	263,357	536,454	273,660	270,370	544,030
デイサービス (通所介護サービス)	220,064	206,287	426,351	214,381	208,206	422,587	214,394	208,892	423,286
訪問入浴サービス	32,222	30,892	63,114	31,321	29,228	60,549	33,371	34,393	67,764
その他	31,823	25,908	57,731	27,395	25,923	53,318	25,895	27,085	52,980

介護事業（デイサービス） ご利用件数の推移



現在の中国介護市場 = 在宅を中心にした介護への移行

「90・7・3」

在宅

90%

社区

7%

施設

3%

中央政府
(政策・社会保障)

医療と介護(養老)の結合

- ・病院内の介護ベッド拡大
- ・介護施設での医療サービス導入

病院

介護施設

社区・街道

受注

在宅・社区介護サービスの整備拡充

- ・小規模多機能施設の公設民営委託
- ・訪問、通いの介護サービスの充実

大都市圏・直轄市
(ex. 上海、北京)

当社の商機

- 運営コンサルティング
- 教育研修

ケアサービス
(中国事業)

チームケア

認知症対応

ケアプラン

小規模多機能

訪問入浴

■ 「T O K Y O働きやすい福祉の職場宣言」の認定事業所への登録

東京都が2017年度から開始した人材育成、キャリアパス、ライフワークバランス、職場風土などの「働きやすい福祉の職場ガイドライン」の指標を当社の都内69事業所が達成し、認定事業所として登録されました。



※「T O K Y O働きやすい福祉の職場宣言」事業につきましては、公益財団法人 東京都福祉保健財団のホームページよりご確認ください。
<http://www.fukushizaidan.jp/204sengen/index.html>

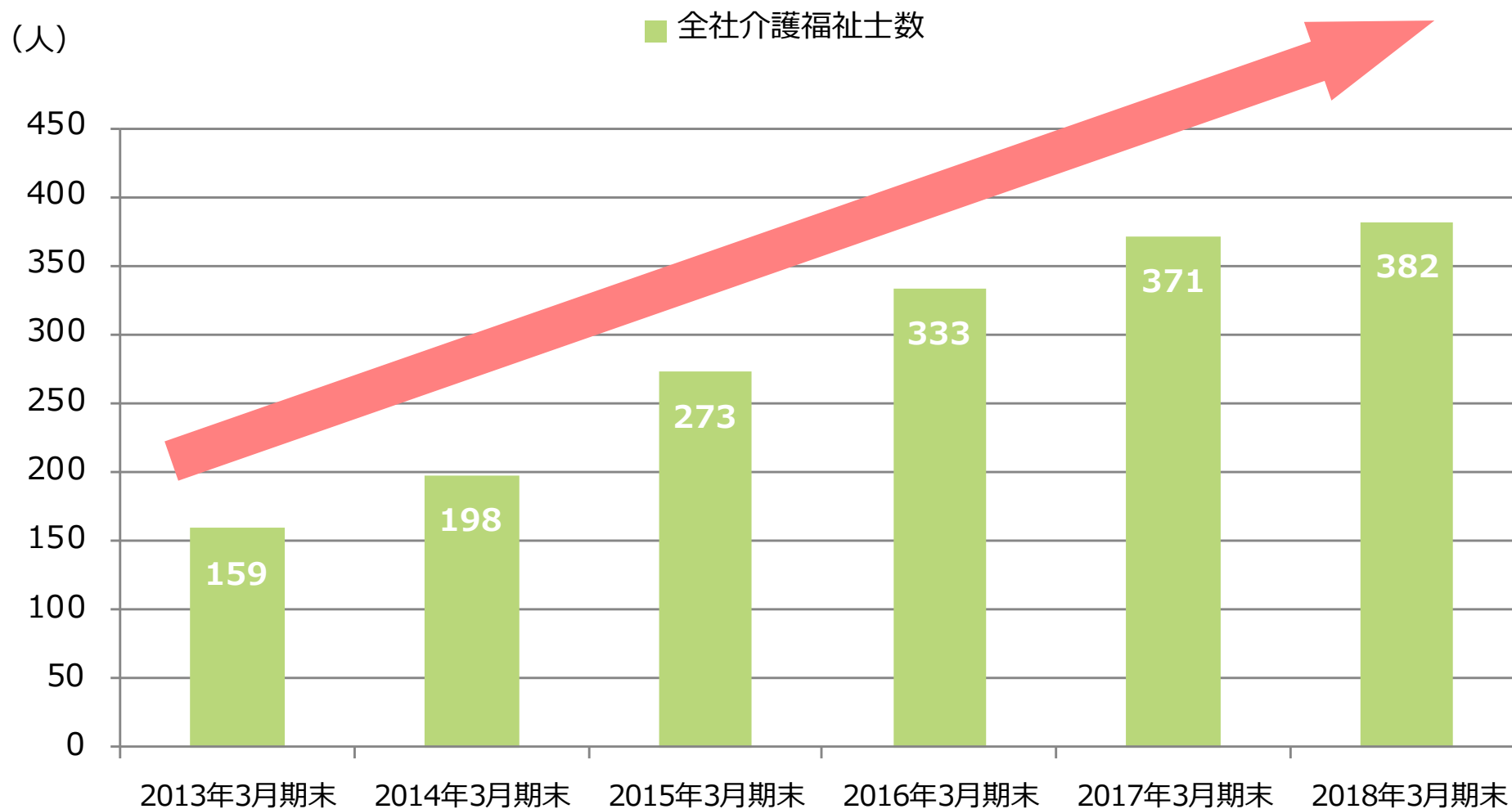
■ 厚生労働省推進「介護プロフェッショナル キャリア段位制度」の取得奨励

介護職員の実践スキルを体系的に評価した全国共通基準である「介護プロフェッショナル キャリア段位制度」の取得に取り組んでいます。体系的に介護技術の育成・指導を行う技能を持つ「アセッサー」を18名、現時点で国内最高位の介護の専門性を持つ「レベル4 認定者」を4名が取得済。

※「介護プロフェッショナル キャリア段位制度」につきましては、一般社団法人シルバーサービス振興会のホームページよりご確認ください。
<https://careprofessional.org/careproweb/jsp/>

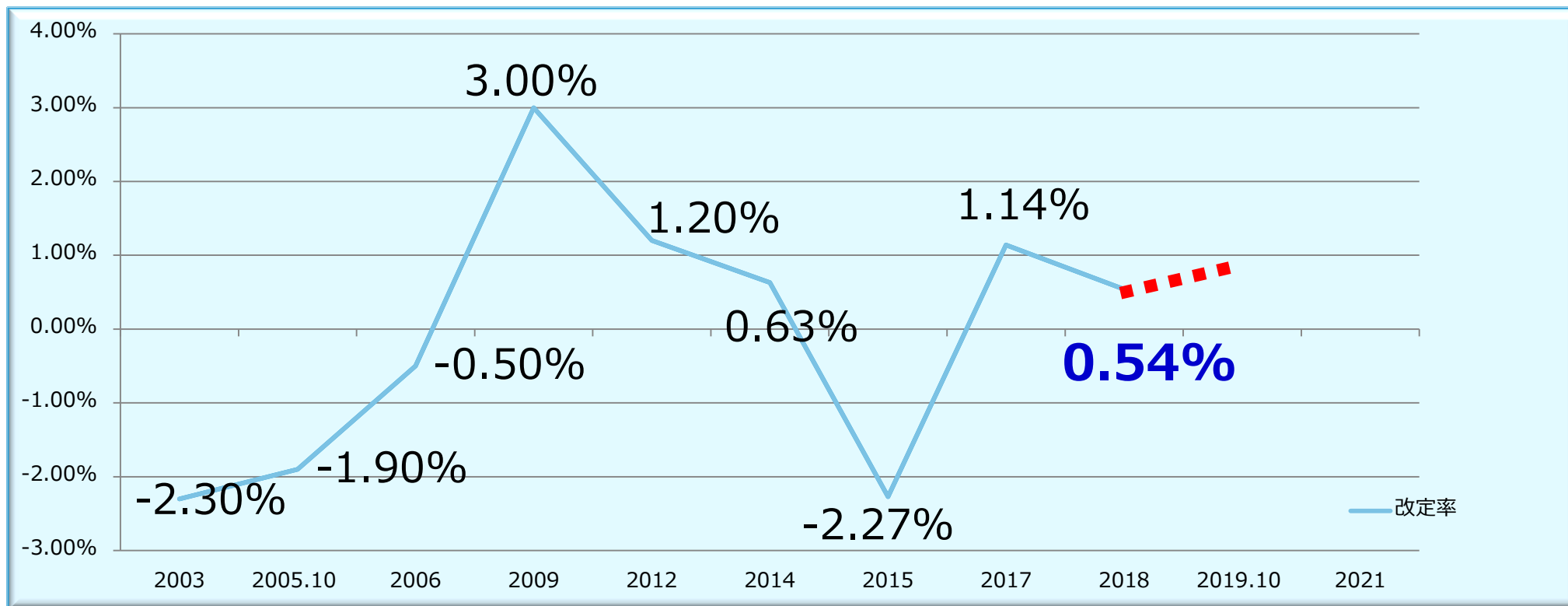
職場環境とキャリアパスの整備を図ることで
従業員の定着とサービス品質の向上を促進させる。

■ 教育・研修の強化により、着実に介護福祉士数が増加



※介護福祉士の合格者発表が3月下旬であり、登録証が届くまで
正確な数字が把握できないために、確定したものを発表致します。

介護報酬改定の影響（報酬改定の推移）



- （消費税の引き上げ等）
- 今回の改定**
- 処遇改善
- サービス評価の適正化等
- 消費税の引き上げ等
- 医療と介護の連携等
定期巡回・看多機の誕生
- 人材確保・処遇改善等
- 予防給付・地域包括ケア等
- 居住費・食費等見直し等
- 自立支援等

2018年度介護報酬改定について

居宅サービス、施設サービス、居宅介護支援全ての改定率は+0.54%となった。(H29.12.18)

I 地域包括ケアシステムの
深化・推進

II 自立支援・重度化防止
質の高いサービス実現

4つの
基本的な
考え方

III 多様な人材の確保と
生産性の向上

IV 介護サービスの
適正化・重点化
制度の持続可能性の確保

改定率 +0.54%

質の高いサービスの
評価等
+1%

給付の適正化
▲0.5%

デイサービス事業に対する報酬改定の影響

①通常規模型のサービス提供時間区分の見直し

※当社一般型デイサービス 30/43

改定前（～2018年3月）		
要介護1	7～9時間	656単位
要介護2	7～9時間	775単位
要介護3	7～9時間	898単位
要介護4	7～9時間	1,021単位
要介護5	7～9時間	1,144単位

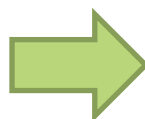


改定後（2018年4月～）		減少率
7～8時間 8～9時間	645単位 656単位	-1.7% 0
7～8時間 8～9時間	761単位 775単位	-1.8% 0
7～8時間 8～9時間	883単位 898単位	-1.7% 0
7～8時間 8～9時間	1,003単位 1,021単位	-1.8% 0
7～8時間 8～9時間	1,124単位 1,144単位	-1.7% 0

②大規模型Ⅰ・(Ⅱ)の基本報酬引下げ及び提供時間区分の見直し

※当社大規模型デイサービス 13/43

改定前（～2018年3月）		
要介護1	7～9時間	645単位(628単位)
要介護2	7～9時間	762単位(742単位)
要介護3	7～9時間	883単位(859単位)
要介護4	7～9時間	1,004単位(977単位)
要介護5	7～9時間	1,125単位(1,095単位)



改定後（2018年4月～）		減少率
7～8時間 8～9時間	617単位 (595単位) 634単位 (611単位)	-4.3% (-5.3%) -1.7% (-2.7%)
7～8時間 8～9時間	729単位 (703単位) 749単位 (722単位)	-4.3% (-5.3%) -1.7% (-2.7%)
7～8時間 8～9時間	844単位 (814単位) 868単位 (835単位)	-4.4% (-5.2%) -1.7% (-2.8%)
7～8時間 8～9時間	960単位 (926単位) 987単位 (950単位)	-4.4% (-5.2%) -1.7% (-2.8%)
7～8時間 8～9時間	1,076単位 (1,038単位) 1,106単位 (1,065単位)	-4.4% (-5.2%) -1.7% (-2.7%)

通常規模型：平均月延利用者数301～750人
大規模型Ⅰ：平均月延利用者数751～900人

大規模型Ⅱ 平均月延利用者数901人～

本資料のいかなる情報も、弊社株式購入や売却などを勧誘するものではありません。

本資料に記載されている業績予想および将来の予測等に関する記述は、資料作成時点での入手された情報に基づき弊社で判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

従いまして、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おき下さい。

お問い合わせ先

株式会社ケアサービス 経営企画部広報IR

TEL 03-5753-1170

E-mail ir@care.co.jp